



# 市民ネットワーク 議会通信

2017年  
千葉市議会第2回定例会  
6月26日～7月13日



## 市長選後初の議会

熊谷市政3期目のスタートとなった第2回定例会で、市長提案の議案のうち、一件に反対しました。

市民ネットワークは、今後も市民目線で一つ一つの議案を慎重に審議し判断していきます。

### 待機児童ゼロに向けて

保育園関連の  
補正予算に賛成



保育については、「職場環境の整備」と「保育の質の担保」が子どもたちの育ちにとって重要です。休暇が取れるか、研修に行けるか、シフトの調整などに柔軟に取り組めるか、保育園事業者に対しての運営支援を市に求めました。

### 補正予算の内容

- 予定より500人分を増やし、1688人分の保育先を確保
- 保育士等の確保のため、職員1人当たり月額3万円の給与上乗せ
- 保育士等の宿舍借り上げ支援事業を拡充

## 公民館は地域の宝に 導入に反対



来月4月からすべての公民館に「指定管理者制度」が導入されます。指定管理者制度とは、公共施設の管理・運営を、民間企業・法人・その他の団体に包括的に代行させることができる制度で、すでにスポーツセンターや文化施設等に導入されています。

学校教育は市の責任でおこなわれますが、市民への社会教育も市が主体的に担う必要があります。市民ネットワークは、社会教育の拠点である公民館の管理・運営を直営でおこなうことを求め、市の方針転換に反対しました。

市によれば、合計110回の説明会を実施し、2287人が出席したとのこと。しかし、公民館の年間のべ利用者数110万6000人に比べるとその割合は低く、利用者や関係団体等と十分に協議できたか、納得が得られたか、市民に周知が図られたか疑問です。

公民館の運営については、社会情勢の変化を踏まえ、どう対応していくのか、さらに市の社会教育がどのように世の中の課題解決に資するのか、市民参加によって、その方向性を決めることが重要です。

公民館は地域福祉や防災の拠点でもあり、地域住民と市が連携しながら課題解決やまちづくりを進める場にもなります。指定管理者制度の導入は、その機会を逸することです。これは市や市民にとって大きな損失ではないでしょうか。

(松井かよ子)

### 今年度の所属委員会など

渡辺 忍…総務委員会・広報委員会・会派幹事長  
松井 かよ子…環境経済委員会・会派会計  
岩崎 明子…教育未来委員会・少年自然の家事業運営協議会

### 市民と議員の意見交換会 どなたでもどうぞ

8/1 (火) 13:30~15:30 高洲コミュニティーセンター  
8/2 (水) 11:00~14:00 カフェバンサック・要予約(稲毛区)  
8/7 (月) 11:00~13:30 「まりい〜な・すとらっせ」美浜区磯辺  
8/7 (月) 14:30~16:30 千城台コミュニティーセンター(若葉区)  
8/10 (木) 15:30~17:30 TSUGAno わこども食堂(若葉区)  
8/20 (日) 15:00~16:30 いなげネット事務所(稲毛区)

## 岩崎 明子

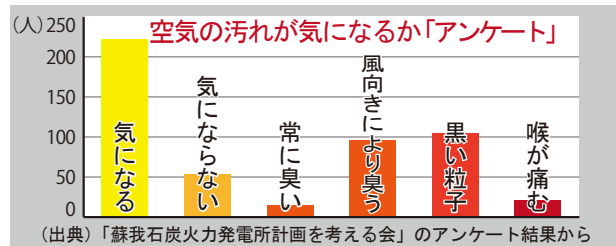
### 市民に丸投げにならないボランティア活動とは？

福祉や子育てなど様々な分野で、行政ができないことでも市民が自発的に団体を立ち上げ、地域課題の解決に動いている人達があります。より住みやすい地域にするには、そのような団体と行政がうまく協働する必要があります。団体の継続支援や行政との連携体制の充実のため、市文化センター 9 階にある市民活動支援センターのような相談窓口や情報提供機能を各区に持たせるべきと求めたところ、「区職員研修と、地域活性化支援事業助成団体向け支援の充実を検討する」との回答を得ました。

### これ以上の空気の汚れはゴメンです

蘇我地区に計画されている石炭火力発電所について、市民団体がアンケートをした結果、今でも空気の汚れが気になるという声が多数寄せられました。もし新たに発電所ができれば、さらに生活や健康への影響が心配されます。また、国際的な CO2 削減の流れに明らかに逆行し、削減に努力している市民のモチベーションも低下します。市主催での市民全体

に向けた説明会開催や、市民と協働で環境調査をするよう求めましたが、前向きな回答は得られませんでした。市が主体的に市民意見を聞き、事業者と環境改善に取り組むことを要望しました。



### 働き盛りほどお口のケアが大事です

日本人の平均寿命と健康寿命の差は男性 9.13 年、女性 12.68 年ですが、予防医療を進めれば健康寿命を延ばし、社会保障負担の軽減も期待できます。中でも歯周病の予防は、栄養摂取に直結するため重要です。口腔ケアに無頓着になりがちな働き盛り世代への施策として、写真やデータで口内状況を「見える化」して危機感を持たせ、本人がセルフケアや定期健診に積極的になる取り組みを求めたところ「歯科保健知識と技術の普及啓発に努め、より実効性のある対策を検討する」との回答を得ました。

## 渡辺 忍

### 放課後の時間を子どもたちの手に返そう！

待機児童対策により子どもルーム（学童保育）は過密さを増しており、施設基準を満たしていないと指摘しましたが、市は平均在室児童数で面積基準は満たしているとの見解。施設の面積や高学年ルームの運用面での課題を認めつつも、緊急性や安全性、費用面などから、概ね事業目的を達成できているとの認識であり納得いきません。

放課後子ども教室については、有料プログラムや大人主導のプログラム提供に対する懸念を指摘し、市の見解と今後の対応を確認しました。

市は今後、希望する全ての子どもが安心して過ごせる放課後のために「(仮称)放課後子どもプラン」を策定する中で、以下について見直しや検証を行うとのこと。

- ①高学年ルームの実施方法
- ②放課後子ども教室関連での様々なモデル事業 (注1)の検証から、全ての子どもたちが安全・安心に過ごせる居場所の提供と学習のきっかけを提供する事業のあり方
- ③子どもの居場所として子どもカフェ(注2)の市内展開の実施方法やあり方

船橋市の子どもたちが自主的な活動を行う居場所の提供として毎日開催している放課後子ども教室の事例を紹介し、大人の事情ではなく子どもに寄り添うプランの策定を要望しました。

(注1) NPO 法人による放課後子ども教室・子どもルーム一体型モデル事業や活動支援事業モデル校など

(注2) 子どもが自由に遊べる居場所



熱気  
のこもる  
子ども  
ルーム  
(美浜区)

### 生涯現役応援センター設置は何のため？

7 月に稲毛区役所に設置される生涯現役応援センターと従来からあるシルバー人材センターやボランティア関連団体等とのすみわけについて質問しました。

生涯現役応援センターは、就労やボランティア活動、地域活動など高齢者の様々な生きがいに関する情報を一元的に提供する総合相談窓口となり、様々な団体と連携し、生きがいに出会うまでの継続的な支援ができるとしています。行政が不得手な横連携がどこまでできるのか、注目です。